

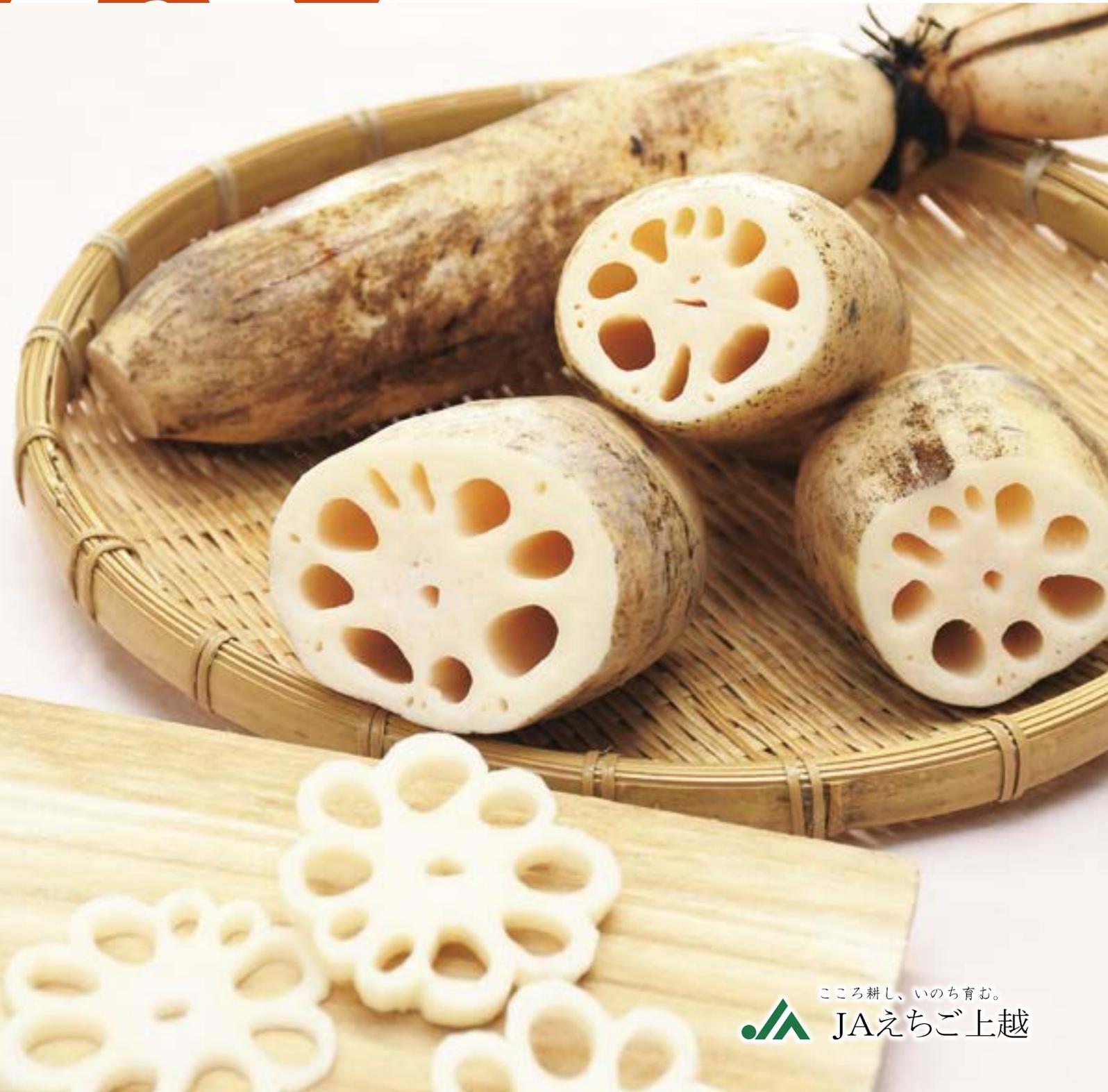
広
報

えちご上越

特集

ごはん・お米とわたし
作文・図画コンクール 入賞作品紹介

1 | 2022
Vol.251



こころ耕し、いのち育む。



JAえちご上越

みんなで創る

農業・地域・組織に向けて

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中はJAの事業・活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、記録的な豪雪により農業施設等への多大な被害が発生した年となりました。被害状況を把握し復旧に向けた支援に努めさせていただいたところですが、改めて罹災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、令和3年産米の作況指数は、上越地域では99となりました。品質については、7月から8月にかけての高温、8月中旬以降の低温・日照不足の影響を一部で受けましたが、管内上位等級比率は全体で81%を超え、特にコシヒカリは92%と近年にない高品質となりました。今後土づくりをはじめとした基本技術を励行し、引き続き異常気象に強い米づくりの推進により、えちご上越米の収量・品質を確保してまいります。

米の販売状況は、コロナ禍により主食用米の民間在庫量が増加し、厳しい需給環境が続いておりますが、的確な情報収集と消費者ニーズの把握に努め、「多様な需要に応じた米の生産・販売」に取り組む所存です。

園芸振興では、担い手の育成とえだまめを中心とした重点品目の生産拡大により農家所得の

増大に繋げ、併せて「上越あるるん村」から食と農の情報発信を行い、地域のふれあいの場とするとともに、直売事業の強化を進めます。

また、新たなICT技術やコスト低減技術の普及に向けた検証・支援に取り組んでまいります。

農業を取り巻く環境は、農業就業者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加、気候変動等の懸念に加え、コロナ禍を契機とした価値観の変化や劇的に進化するデジタル化、SDGsの達成に向けた取り組みなど、時代の転換期にあるとも言えます。

これらの課題と向き合い、JA自己改革の目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の実現を目指すとともに、これを支える「持続可能な経営基盤の確立・強化」を令和4年も実践してまいります。

一つ目の取り組みとして、新たな営農指導体制により、営農・生産購買・販売の一連の流れをサポートし、農家が求める総合的な相談体制の実現と併せ、地域密着型の営農指導を行い、JA利用の利点を実感していただける営農経済事業を展開いたします。

二つ目の取り組みにおいて、「支店」は組合員とJAを繋ぐ最も重要な拠点であると考え、新たな地域の枠組みにより支店業務の効率化を

図るとともに「地域の拠りどころ」として運営いたします。これらの取り組みにより、将来にわたり組合員・地域に貢献し続けることを目指します。

上越地区JAの合併につきましては、JAひすいととの合併研究会を立ち上げて2年が経過しました。これまで重ねた研究の内容についてご報告申し上げ、合併に向けた協議を継続いたします。

JAグループは、昨年11月の第39回JA新潟県大会において、10年後の目指す姿として「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域づくりへの貢献」「不断の自己改革の実践を支える組織・経営基盤の強化」について決議しました。JAは、組合員との対話のもと、令和4年度を初年度とする「第7次中期3カ年計画」にこれを反映させ、協同活動と総合事業の展開を進めてまいります。

本年も、組合員・地域を支え続けるJAを目標として、役員が一丸となり取り組んでまいりますので、一層のご理解とご協力、そして積極的なご参加をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



代表理事 理事長
羽深 真一

経営管理委員会 会長
笹原 茂



JAグループ新潟では、昨年11月18日に第39回 JA新潟県大会を開催しました。今大会では、「組合員と歩む農業・地域・JAの未来づくり～組合員・地域を支え続けるJAをめざして～」をテーマとし、10年後の実現をめざす3つの姿と重点取り組み事項を決議しました。この決議事項は、新潟県のJAグループが同じ方向に向かうための「羅針盤」と位置付けられます。

令和4年から6年までの3年間において、全てのJAが確実に成果をあげることを基本に取り組みを進めていきます。

第39回 JA新潟県大会決議 全体イメージ

「組合員と歩む農業・地域・JAの未来づくり」～組合員・地域を支え続けるJAをめざして～

めざす姿

重点取り組み事項

持続可能な農業の実現(農業者の所得増大・農業生産の拡大)

担い手経営体、中核的担い手、多様な担い手が農業振興の主人公となって連携・補完し合い、地域農業が維持・発展し続けるために、JAグループが農業者の所得増大と農業生産の拡大を支えている姿。



- ① JA地域農業戦略の策定と実践
- ② 環境変化に対応した新潟米基本戦略の実践
- ③ 新潟県園芸振興基本戦略の着実な実践
- ④ 農業者の所得増大に向けた購買事業の拡充と営農新技術の導入
- ⑤ 担い手経営体への対応強化と支援
- ⑥ 営農指導事業機能の強化および農業経営支援の取り組み強化
- ⑦ 地域実態を踏まえた所得増大・生産拡大対策の実践

豊かでくらしやすい地域づくりへの貢献(地域の活性化)

組合員の参加による協同活動の継続的な実践、くらしやすい地域づくりに貢献する総合事業の展開、それらの情報発信により、組合員・地域住民とのつながりを強め、豊かでくらしやすい地域づくりに貢献している姿。



- ① 地域とJAを結ぶ協同活動の実践
- ② くらしやすい地域づくりに貢献する事業の展開
- ③ 「食」「農」「協同組合」に関するJA広報・統一広報の強化

不断の自己改革の実践を支える組織・経営基盤の強化

健全な経営を継続し、「次世代層」を含む組合員とともに農業協同組合としての役割を發揮し続けている姿。



- ① 組織・経営基盤の強化によるJA事業の健全性、経営の持続性確保
- ② 協同組合としての人づくり
- ③ JA合併構想を踏まえた地区別JA合併の実現

大会決議事項の実践と併せ、協同活動による総合事業を通じてSDGsの17の目標達成にも貢献していきます。



役員会だより(主な協議事項)

第11回理事会(11月12日開催)

- ・令和3年産米仮渡金の改定について

第12回理事会(11月26日開催)

- ・上期監事監査指摘の改善結果について
- ・「不良債権」の処理方針(新規および変更)について

- ・10月末仮決算結果ならびに年度末見込みについて
- ・12月賞与の支給について
- ・貸出の承認について
- ・令和4年度営農関連手数料・利用料・運賃等の設定について
- ・株式会社アグリパートナー 定款の変更について

JAえちご上越の組合員
39,493人
(令和3年11月末現在)
正組合員 16,812人
准組合員 22,681人

●氏名・住所・電話番号・組合員資格に変更があった場合は、JAまでご連絡ください。

※「おたより広場」と「クロスワードパズル」は別紙折込とさせていただきます。

14	13	12	8	7	3	10	4	2
J Aからのお知らせ	直売所通信	知って得する 信用・共済	今月の話題	F I A C E	役員室から	営農情報 肥料高騰緩和対策 助成について など	特集 ごはん・お米とわたし 作文・画コンクール	新年の「あいさつ」

目次

ごはん〇お米とわたし

作文・図画コンクール 入賞作品紹介

作文部門

最優秀賞 新潟県知事賞

家族が一番のごち走

上越教育大学附属小学校

六年

池田

寛菜さん

「おばあちゃん、準備出来た？」

私のおばあちゃんは、大阪で一人暮らしをしています。

おばあちゃんは、夏休みになると、私たち家族が遊びに行くことを楽しみに待っていてくれます。ごち走を作って、みんなでご飯を食べることが大好きだからです。

でも、去年も今年も、コロナの影響でおばあちゃんの家に行けませんでした。私は、おばあちゃんがきちんにご飯を食べているか心配で、夏休みに何度も電話をしました。

「ばあちゃん、ちゃんと食べてる？」

「暑くてご飯が入らんわ。」

おばあちゃんの声は、弱そうでありませんでした。いつも聞く、

「にぎやかで嬉しいわ。楽しいから、つつい食べ過ぎてしまっわ。」

と笑いながら話す、明るいおばあちゃんの声と違って、とても心配になりました。お母さんに相談したら、

「時間を決めて、同じ時間に、テレビ電話しながら食べるのはどう？」

と、言われました。私は、面白いと思い、おばあちゃんを誘いました。早速、日曜日の夜七時に始めることにしました。おばあちゃんは、「食べてくれる人がおらんと、作るのが大義」というのが口ぐせだったので、作るおかずのテーマも決めることにしました。

最初のテーマは、「ご当地食材」です。新潟と言えば、お米。それに、新潟の夏野菜、枝豆。そこで私は、二つを組み合わせた「枝豆入りライスコロッケ」を作ることに決めました。おばあちゃんに発表すると、

「じゃあおばあちゃんはその焼きコロッケにするわ。初めて作るわ。どないなるかな。」

と言って、笑いながら答えてくれました。私は、お母さんに作り方を教わりながら、ライスコロッケを作りました。

「ばあちゃん、こちら準備出来ました。」

電話がつながったおばあちゃんに、私が作ったライスコロッケを紹介しました。おばあちゃんも、特製「たこやきコロッケ」を見せてくれました。

「いただきます。」

大阪と新潟で、ご飯タイムが始まりました。

「たこ焼きだけで食べた方がええわ。」

おばあちゃんの感想に、大阪と新潟で大笑いしました。最後におばあちゃんが、

「久しぶりににぎやかなご飯で、おいしかったわ。いっぱい食べたわ。ありがとうな。」

と言ってくれました。

どんなにおいしいご飯でも、みんなで囲むご飯の方が何倍もおいしいことを、私はまだ知りません。でも、おばあちゃんの声の元気で、少しだけ分かった気がします。家族で食卓を囲んで食べるご飯が、一番のごち走なんだって。「来年こそは、みんなと一緒にご飯を食べようね、おばあちゃん。」



園児や小・中学生が、毎日のごはんでおいしかったことや、家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを自由に表現するコンクールです。今年度は新潟県内で作文294点、図画942点の応募がありました。ここでは当地域から出品され、最優秀賞と優秀賞を受賞した4作品をご紹介します。

優秀賞 新潟県教育長賞

三ばいたのしかったおにぎりパーティー

上越教育大学附属小学校 一年 白鳥 憩さん

「コロナでどこもいけないから、おにぎりパーティーをしようよ。」

おかあさんのていあんで、おとうさんのしごとがおやすみの日に、おひるにおにぎりパーティーをしました。

「やったあ。ぼく、サケおにぎり！」

ぼくは、うれしくて、さっそくテーブルのじゅんぴをしました。まえの日、じじちゃんといっしょに、はたけからとってきたやさいのりようりをたくさんはこびました。ナスとピーマンのみそいため、オクラのおひたし、ナスとキュウリのつけもの、トマトです。

「おにぎりは、じぶんでにぎるんだよ。」

といわれて、できるかしんぱいだったけど、すぐたのみでした。おかあさんが、

「チーズも入れるとおいしいよ。」

といったので、ぼくは、大きなサケとたらことチーズの三しよくおにぎりにしました。ばばちゃんからおしえてもらって、ラップの上から、ごはんつぶがぶれないようにやさしくにぎりました。ふわつというろろなあじがしておいしかったです。いもうとは、

「ギユツ、ギユツ、まるくなりますように。」

「あったかあい。」

といって、わらいながらにぎっていました。二さいのおとうとは、すきなぐでおとうさんからつくってもらいました。三こもたべたので、みんながびつくりしていました。おとうさんも、チーズとちりめんじゃこを入れて、

「うん、チーズとあうなあ。おいしいね。」

といって、パクパクたべていました。あつというまに、おかまのごはんがからっぽになって、おなががいっぱいになりました。

はじめてにぎったおにぎりがとってもおいしくて、かぞくみんなでたべたことが、くるまででかけるより三ばいたのしかったです。

優秀賞 新潟日報賞

「おうち時間」で見つけた米の魅力

上越市立直江津中学校 一年 佐藤 悠芽波さん

世界を大きく変えた、あの出来事。今もお続く。新型コロナウイルスの感染拡大から、約一年半がたった。こんなにも大変な世の中になるなんて、誰もが予想しなかっただろう。現在、兄は大学生で福島県にいる。そう遠くはないけれど、コロナ禍により帰ってこれない状態が続く。

私の家は四人家族で、以前は食卓に四人分のお皿が並ぶことが当たり前だった。しかし今はその「当たり前」が実現できていない。だからこそ、私たちはいつもと同じような四人家族でいたい。それも「ご飯」で家族全員が笑顔になりたいと思っている。

私たち家族にとって、食事はとても大切な時間だ。お互いの顔が向き合い、なぜかすごく安心できる。いつもと変わらない時間だが、毎日少しずつ違う。話したいことがたくさんあり、食べ終わるのがおそくなってしまふときもあれば、日によって、あまり話したくないときもある。どちらにしても、あの時間は私にとってすごく心地の良い時間だった。



そのため、週に一度以上はビデオ通話をして、家族みんなで笑い合う。たった数分の会話でも、その時間はもちろんだが、終わった後も自然と笑顔になる。

私の父方の祖父母は、昔、米農家だった。父が子どもの頃から、ずっと米の大切さを教えていたそう。今は、祖父のアルツハイマー病が進行し、祖母も料理を作ることが少なくなっている。

ある夏の日、私たちは、祖父母と一緒に墓参りに行った。祖父は覚えていたことも少なくなっている中、自分が以前育てていた田んぼの近くに来ると、急に歩くペースが速くなり、そこから先祖代々の墓へは誰よりも早く着いていた。長い間「米農家」として過ごした時間は、いまだ祖父の心の中で残っていたのだ。

そして私の母方の祖母は、現在、自分の家の庭以外にもさまざまな場所で畑を耕し、たくさん野菜を育てている。私の家にもわざわざ足を運んで畑をしている。

朝食は、その日の朝に採れた野菜とほかほかのご飯やおかずでいただく。一歩外に出るだけで新鮮な野菜があることは、幸せだと私は感じる。

祖母は、みんなが健康で、より良い食事をしてくれることが「生きがい」だと言っている。だから、私も夏休みは庭の野菜を収穫することが日課となっている。

新型コロナウイルスの感染が広がり、私たちの生活は大きく変化した。兄とは会えない日が続き、見附市に住む父方の祖父母とも長い時間は一緒にいられない。

しかし、その分身近な「食」に興味を向けられるようになった。新潟県民としてのさまざまな食文化。特に「米」の存在が大きい。

私は今まで「米」に対しての思いは、あまりなかった。その時ちょうど「おうち時間」が注目され、改めて新潟の米の美味しさを見出すことができた。

家で過ごす時間が増え、家で食事をする回数も多くなったことで、簡単に作れる「おにぎり」がすごく好きになった。気軽に誰でも作れ

て、相手の目を見ながらでも食べることができる。そんな良さが、あの「心地よい」時間に似ているからだ。

米はそのまま食べてもほんのり甘みがある。砂糖のような甘さでなく、米ならではの「優しい甘さ」が私は大好きなのだ。

母方の祖母が言った、『食べられる時に、きちんと食べないとね。』という言葉。私の胸には、その言葉がすごく刺さった。ずっしりと重たい、その言葉が。

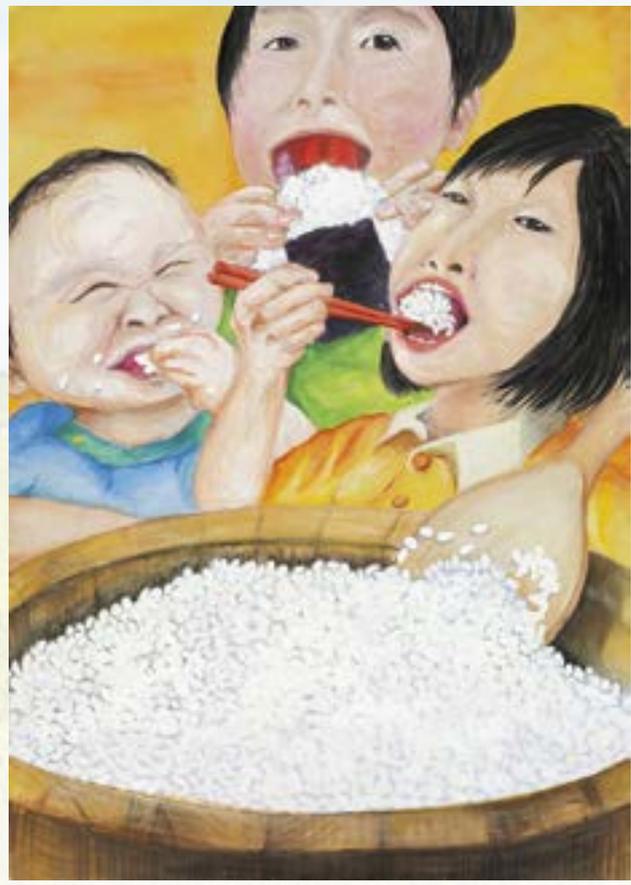
人と会えなくても、身近な食の素晴らしさやありがたみを大切にしていきたいと思う。改めて、毎日の食事に感謝だ。ありがとう。

図画部門

最優秀賞 北陸農政局長賞

「ばっか うんめえーの」

上越教育大学附属中学校 二年 井口穂香さん



母娘の絆で農業を盛り上げる



頸城区大谷内
農事組合法人 ふあーむ大地

阿部七海さん(23) 松本まゆみさん(44)

松本まゆみさん(右)と娘の阿部七海さん(左)。



収穫前のリーフレタスの様子を確認。



安定した環境の中で育つ水耕栽培リーフレタス。

頸城区大谷内で、水稲と園芸の複合農業を行う(農)ふあーむ大地。松本祐一代表の奥様で施設園芸を担当する松本まゆみさんは、園芸ハウスで精力的に野菜の水耕栽培に取り組んでいます。小ネギ、三つ葉、小松菜、リーフレタスといった品目を通年で栽培し、直売所や提携スーパーなどへ出荷しています。その年によってハウス内の温度を上げたり、下げたりと調整しながら気候の影響を最小限にとどめ、安定供給を目指して取り組んでいます。また、学校給食にも野菜を供給していて、「学校の子ども達が笑顔で野菜を食べてくれる姿を想像しながらつくっています」と話します。

令和3年3月から同法人へ就職したのは、長女の阿部七海さんです。太陽の光を浴び、四季を感じられる農業の魅力にひかれ、父母と同じ道を選びました。現在は米の精米や発送など、米の販売担当の傍ら、母親の園芸もサポートしています。母のまゆみさんは、「娘は、学生時代にここでアルバイトをしていた経験があるので、園芸作業の流れは理解しています。収穫など、私の仕事を分担でき、助けてもらっています」と話します。七海さんは、「農業はすごく楽しいです。生産する喜び、自分が育てたものを買ってもらえる喜びが味わえる、やりがいがある仕事だと思っています。今後はお客さんとのコミュニケーションを大切にしながら、担当として米の販売を強化していきたいです」と話します。

母娘ともに、農業に対する強い思いを抱き、互いを信頼しながら取り組んでいます。家族という強い絆を仕事の上でも発揮し、法人や地域農業、地域の食を盛り上げています。

経営	水稲 77畝	大豆 12畝
メモ	園芸 水耕栽培ハウス 2棟(小ネギ、三つ葉、小松菜、リーフレタス)	



坂口げんき農場が個別経営の部で優秀賞 第51回日本農業賞・新潟県表彰



表彰を受けた坂口げんき農場の皆さん。左から3人目が後藤代表。

第51回日本農業賞の新潟県表彰式が12月12日に妙高市で行われ、同市坂口新田の(農)坂口げんき農場が個別経営の部で優秀賞を受賞しました。

日本農業賞はNHKとJA全中が主催。意欲的に経営や技術の改善に取り組む農家や団体を表彰します。坂口げんき農場は集落ぐるみの共同経営を実践し、稲作や園芸、花き作に加え、ワイン加工用ブドウも栽培。耕作放棄地を解消して生産性の高い複合経営を実現している点や、6次産業化への取り組みなどが評価されました。

後藤正直代表理事は、「集落の農地を守るための取り組みが評価され、ありがたく思っています。今後は加工用ブドウなどを切り口に、若い力を呼び込んでいきたいです」と話していました。

中村指導員が優秀賞を受賞

令和3年度JA営農指導員活動実績発表研修会



賞状を手にする中村指導員(中央)。結果を羽深理事長(左)と岩崎常務に報告しました。

県内の営農指導員が集まり、これまでの活動成果を発表・共有するJA営農指導員活動実績発表研修会が12月2日に新潟市で行われました。今年度は県内6JAの営農指導員が発表。当JAからは頸南営農センターの中村洋輔指導員が臨み、審査の結果、優秀賞を受賞しました。

中村指導員は「大規模区画圃場におけるスマート農業の導入推進」をテーマに、板倉区高野の(農)高野生産組合が取り組むスマート農業技術の実証事業について発表。大規模圃場における稲作の低コスト化と収量安定化に向けて、これまでに導入した可変施肥田植え機や収量食味コンバイン、水管理システムなどの作業精度や成果を説明しました。

野菜のおいしさを生かした新商品を考案 春日新田小5年生が上越あるん村にプレゼン



新しい商品アイデアが飛び出したプレゼンテーションの様子。

上越市立春日新田小学校の5年生は、地場産のえだまめとばなな南瓜を使った新商品を提案し、JAに商品化してもらおうと、12月7日にプレゼンテーションを行いました。児童は15班に分かれ、野菜の甘さや食感などを生かした商品アイデアのPRポイントを説明。和菓子やパフェ、ワッフルなどスイーツのほかにも、えだまめごはんを挟んだユニークなホットサンドのアイデアも飛び出しました。

上越あるん村では15種類の案の中から1点を商品化する予定。1月に試食会を行い、2月には完成した商品を並べて児童自ら対面販売を行う計画です。

県内の高品質な自然薯が勢ぞろい

第29回新潟県自然薯品評会



外観や糖度、粘りを厳しくチェックする審査員。

12月2日に阿賀町で、第29回新潟県自然薯品評会が行われました。当JAを含む県内のJAから31点の自然薯が出品され、見た目の美しさや粘り、糖度などを厳正に審査。優れた自然薯を生産した9人の生産者を表彰しました。

当JAからは、丸山政俊さん(牧区)が全農新潟県本部長賞、上野泰弘さん(吉川区)が優秀賞、中嶋巖さん(吉川区)と関澤悟さん(吉川区)が優良賞を受賞しました。

品評会は、新潟県自然薯生産振興協議会が主催。栽培技術の向上や生産拡大などを目的に、毎年開催しています。

JAえちご上越の話題はフェイスブックなどで配信中!

スマホ対応に
リニューアル!!

こころ耕し、いのち育む。
JAえちご上越
ホームページ

JA えちご上越

検索



JA えちご上越
フェイスブックはこちら➔



旬の情報が満載!
SNSもあります

上越あるん村
ホームページ

上越あるん村

検索





事務局から今年度の状況を聞く部会員。

品質向上と収量増加で販売額1億円へ えだまめ次年度対策会議と優良生産者表彰式

JAえちご上越えだまめ部会は11月17日に頸城支店で、次年度対策会議と優良生産者表彰式を行いました。生産者やJA役職員など54人が出席。令和3年度は、雑草対策や収量増加につながるマルチ直播栽培の導入拡大を図り、「移植・マルチ直播・直播」と3タイプの定植方法と、品種構成による収穫時期の分散化で長期出荷に取り組みました。早生・中生・晩生品種とも、生育が良好で、平年より収量は向上しましたが、梅雨明け後の高温・干ばつ傾向により、品質については平年より落ちる結果となりました。

令和4年度はA品率60%以上、10㎡あたりのA品重量250*を目標に掲げ、適正な品種構成と作付計画、適期収穫により、品質と収量の向上対策に取り組んでいこうと一致団結しました。

優良生産者表彰では、「栽培面積1畝以上の部」で最優秀賞に(株)ふるさと未来、優秀賞に(株)あぐり三和。「栽培面積1畝未満の部」で最優秀賞に堀口典幹さん、優秀賞に小川和久さんが表彰されました。



Point!

えだまめの販売額1億円を掲げ、高品質栽培に取り組んでいます。また、生産者の意欲向上を目的に、優良生産者表彰を毎年実施しています。

デジタル社会対応へのお手伝い

JAスマホ教室を開催



講師からスマホの使い方を教わる参加者。

12月13日と21日に、JA本店を会場に「JAスマホ教室」を開催しました。

教室には女性部役員11人が参加。NTTドコモより講師を招き、第1回は入門編としてインターネットやアプリの使い方などの講習を行いました。第2回はLINEアプリの使い方など、応用編となりました。

当JAでは、JA全中と農林中央金庫と連携し、スマートフォンに不慣れた組合員もデジタル社会に対応でき、利便性の向上や組織活動の活性化を図れるよう、今年度新たに「スマホ教室」をスタートしました。まずはJA女性部の役員を対象に教室を行い、いずれは地域の組合員にも広げていけるよう計画しています。



Point!

組合員のデジタル社会への対応をサポートするとともに、デジタルツールを利用した情報発信を強化していきます。

安定経営に向けインボイス制度への理解深める

農業税務研修会



新制度導入を前に、熱心に研修する参加者。

JAでは、上越市担い手育成総合支援協議会と共催で、農業税務研修会を12月7日に高田城址公園オーレンプラザで行い、81人が参加しました。

講師の新都嘉夫税理士は、令和5年10月から開始されるインボイス制度(適格請求書等保存方式)の概要や農家への影響などを説明。インボイス発行事業者になるには税務署への登録申請が必要となります。参加者は、「自身の経営に必要などうか見極め、正しく制度を理解したいと思います」と話していました。



Point!

農家の経営改善を支援するため、インボイス制度など税務関係の知識を深める研修会などを実施しています。

令和4年産用 肥料高騰緩和対策助成の実施について

肥料原料の国際市況の大幅な上昇の影響により、当JAの令和4年産用肥料価格についても大幅な値上がりを余儀なくされております。つきましては、下記のとおり肥料購入助成を実施します。

今後も農業生産コストの低減につながる取り組みを進めてまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

<助成内容>

「営農生産ガイド2021」掲載の予約分について、水稻用肥料を中心に肥料銘柄を選定し、助成を行います。

<助成銘柄と助成額>

銘柄	規格 (kg)	1袋あたりの助成額 (税込)	銘柄	規格 (kg)	1袋あたりの助成額 (税込)
高度化成オール14	20	200円	晩生用高窒素一発元肥	20	400円
元肥チャレンジャー10	20	400円	コープショート一発21	15	400円
エコマル488	20	100円	越後の輝き有機50穂肥	20	300円
高窒素エコマル888	20	200円	えちご上越専用穂肥チャレンジャー	20	200円
越後の輝き有機50スーパー元肥	20	200円	塩化加里(粒)	20	200円
えちご上越スーパーチャレンジャー100	20	300円	輸入尿素(大粒)	20	400円
早生スーパー元肥パワフル30	20	400円	尿素46	20	400円

<助成方法>

令和3年10月1日から12月30日までにご購入いただいた(秋渡し予約分)上記銘柄については、助成金として令和4年2月上旬に口座振込みさせていただきます。

令和4年1月以降の供給分については、現行の価格から助成額を差し引いた金額で供給します。

※対象肥料の供給後の返品・交換はご容赦ください。

春渡し引き取り予約価格(「営農生産ガイド2021」掲載品)については、広報誌2月号でお知らせいたします。

スパッド 葉緑素計(SPAD)を活用し異常気象に強い米づくり

近年の稲作は異常気象の頻発により、不安定な生育となっています。品質向上と収量安定化に向けて、稲作技術の基本である「正確な葉色診断」を数値で判断できる葉緑素計(SPAD)を活用しましょう。



商品名

葉緑素計「SPAD-502plus」(コニカミノルタジャパン社製)

通常価格 149,083円(税込) ⇒ **特別価格 116,900円(税込)**

※特別価格の対象者は、当JA組合員および組合員が構成員となっている団体などです。

- 予約申込締切 令和4年2月28日(月)まで
- 荷渡し時期 令和4年6月上旬頃
- お申し込み方法 購入ご希望の方は、今月号の折込チラシに必要事項をご記入の上、最寄りの営農センター、または資材店舗にご提出ください。
- お問い合わせ先 最寄りの営農センターまたは資材店舗



令和3年産米の検査状況について

当地域で収穫された令和3年産米の検査が8月25日から始まり、11月30日までに計画していた検査を終了しました。**1等米比率は81.6%**で前年産とほぼ同水準となりました。「コシヒカリ」については充実度や粒張りが良く92.0%で昨年より12.8%向上しましたが、「つきあかり」については腹白・心白粒の混入が多く14.7%で昨年より71.9%低下した結果となりました。

また、主食用米の集荷数量は593,795.5俵(1俵=60kg)で、出荷契約数量581,183.0俵に対し出荷率102.2%となっています。

<令和3年産米 品種別検査結果集計表> (令和3年11月30日現在)

単位: 俵=60kg

	1等数量 (等級比率)		2等数量 (等級比率)		3等数量 (等級比率)		規格外数量 (等級比率)		計
	数量	比率	数量	比率	数量	比率	数量	比率	
コシヒカリ	240,631.3	92.0%	20,139.0	7.7%	735.0	0.3%	53.0	0.0%	261,558.3
こしいぶき	82,039.5	81.1%	18,438.5	18.2%	554.0	0.5%	104.0	0.1%	101,136.0
つきあかり	9,563.5	14.7%	53,286.0	81.6%	2,372.5	3.6%	40.0	0.1%	65,262.0
みずほの輝き	99,123.4	95.7%	4,318.5	4.2%	41.0	0.0%	46.5	0.0%	103,529.4
新之助	17,313.0	98.5%	264.0	1.5%	1.0	0.0%	0.0	0.0%	17,578.0
その他うるち米	10,075.1	74.8%	1,568.0	11.7%	135.0	1.0%	1,687.5	12.5%	13,465.6
うるち米 計	458,745.8	81.6%	98,014.0	17.4%	3,838.5	0.7%	1,931.0	0.3%	562,529.3
酒 米 計	14,580.7	88.0%	1,635.0	9.9%	3.5	0.0%	358.5	2.2%	16,577.7
もち米 計	11,337.0	77.2%	3,012.5	20.5%	241.5	1.8%	97.5	0.7%	14,688.5
合計	484,663.5	81.6%	102,661.5	17.3%	4,083.5	0.7%	2,387.0	0.4%	593,795.5

※小数点第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

<主な品種の品質概況>

【うるち米】

・コシヒカリ

充実度、粒張りは平年より良い。青未熟粒が散見されたが、心白・腹白粒は少ない。胴割粒およびカメムシ被害粒や黒色の着色粒が見られた。

・こしいぶき

充実度、粒張りは平年並み。青未熟粒、心白・基部未熟粒が見られた。胴割粒およびカメムシ被害粒は少ない。

・つきあかり

充実度、粒張りは平年より劣る。青未熟粒が見られ、腹白および心白粒が多く見られた。胴割粒およびカメムシ被害粒は少ない。

・みずほの輝き

充実度、粒張りは平年並み。青未熟粒が見られるが、心白・腹白粒などは少ない。砕粒を含む胴割粒やカメムシ被害粒が見られた。

【酒米(醸造用米)】

全品種を通じて、全般的に品質は平年並み。「五百万石」の心白の発現、および粒張りは平年並み。青未熟粒がやや多く、砕粒を含む胴割粒およびカメムシ被害粒が散見された。

【もち米】

「こがねもち」は胴割粒やカメムシ被害粒が見受けられたが、粒張り・充実度は平年より良い。「わたぼうし」の粒張り・充実度などは平年並みだった。



上越を食べよう!

「米粉ピザ教室」のご案内

上越産の米粉と旬の野菜でピザをつくり、
食と農について楽しく学びます。

- 日時** 2月11日(金)午後2時30分~4時
- 会場** あぐりキッチン(上越市春日新田5-3-11 ※有田支店となり)
- 内容** 米粉ピザを1人1枚つくり、お持ち帰りいただきます。
※ピザは直径約25センチ、肉みそソースとトマトソースのハーフ
- 講師** 太田 和枝 様(ごぱん屋カフェ COME & CO. 代表)
- 参加費** 1,000円
- 定員** 概ね40歳以下の方12人 ※応募多数の場合は抽選となります。
- 申込方法** 電話、FAXまたは右のコードよりメールでお申し込みください。
申し込みの際に、氏名、住所、緊急連絡用の電話番号、年齢をお伝えください。
- 締切** 1月21日(金)
- その他** お申し込みいただいた方には締切後、詳細案内をお届けします。
新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合があります。
- 問い合わせ先** 地域ふれあい課(TEL:025-527-2030 FAX:025-527-2039)



風災

【写真】(一財)消防防災科学センター

大切な建物に

想定外の被害を

もたらします。

自然災害

予測できない

雪災

【写真】総務省消防庁

冬

知って得する信用・共済

JAの建物更生共済の共済金は
たくさんの方のお役に立ちました。

風災 + 雪災の支払額(新潟県)

総額約**35億2,004万円**

風災・雪災の
1件あたり支払額(新潟県)

むてきプラスで
さらに充実!

罹災種類	ご契約プラン	まもり・むてき	むてきプラス
風災(1件あたり)		約175,612円	約344,119円
雪災(1件あたり)		約298,129円	約564,461円

【出典】JA共済連 情報取得・分析システムより算出

※支払額は、費用共済金を含む金額です。
※令和2年12月~令和3年3月に発生した損害で、令和3年8月末日時点での支払処理完了分の金額を掲示しています。

この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。なお、転換の際は「保障見直し設計書」を必ずご覧ください。

ご加入および共済金のお支払いにつきましては、お近くの支店窓口までお問い合わせください。

JA共済
【21175670159】



上越あるん村 冬の味覚フェア 1/15日～16日

土日
限定!

1・2月はヘルシー鍋 第2弾が登場
あるん鍋フェス 開催中
2/13日まで

味噌や酒かすなど発酵食品を取り入れた「腸活鍋（粕汁鍋）」と、老化予防に効果的な食品と辛味成分カプサイシンを組み合わせた「いきいき元気鍋（坦々風鍋）」の2種類の鍋を土日限定で販売します。

あるん村

上越地域を代表する
冬の葉物野菜

アスパラ菜を大量入荷!



※天候により入荷がない場合もございますので予めご了承ください。



ブランドイチゴ越後姫
香り高く、甘みの強い地
場産イチゴを入荷予定!



腸活鍋(粕汁鍋)
880円(税込)



いきいき元気鍋(坦々風鍋)
880円(税込)

※写真はイメージです。

浦川原物産館 おすすめ品



郷土のお菓子

地元菓子店の羊かんや
まんじゅう、サブレ、ポ
ン菓子などを集めた
コーナーが登場。郷土の
味をお楽しみください。

私たちの野菜づくりの成果を見てください! 大手町小2年生



大手町小学校2年生が今年取
り組んだ『バラエティ野菜づ
くり』の報告イベント「おや
さいパークの秋まつり」を開き、
あるん畑から小玉担当と鳥
越担当が招待されました。

児童の熱のこもった発表を聞く鳥越担当(左)小玉担当(左から2人目)。

JAが子どもたちの学習成果をカタチにするお手伝い

小学生が自分たちで育てたお米の対面販売を行いました!

11・12月に上越市内5つの小
学校の5年生が、自分たちが
育てたお米の対面販売をある
ん畑で行いました。児童は来
店者の注目が集まるようカラ
フルな商品パッケージやポ
スター、のぼり旗などを用意
し、元気な声で「私たち
が育てた自慢のお米を食
べてください!」とPR。どの
学校のお米もすぐに売り切
れるほど好評でした。

11/17 富岡小学校



11/23 八千浦小学校



八千浦小学校は、より気
軽にお米を食べてもらえ
るよう、精米したお米と、
おにぎりを販売!

11/30 戸野目小学校



12/1 三郷小学校



12/2 有田小学校



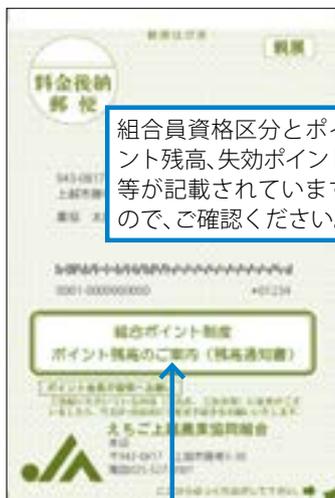
お問い合わせ先 上越あるん村(代表TEL:025-525-1183)、浦川原物産館(TEL:025-599-2387)

JA総合ポイント制度 残高通知書の発送について

1月上旬より「残高通知書」の発送が始まりますので、残高ポイントのご確認をお願いします。

<残高通知書のお知らせ内容>

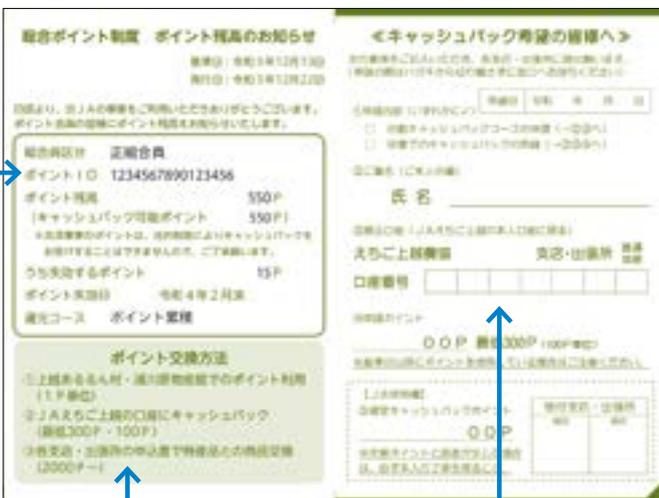
(表)



組合員資格区分とポイント残高、失効ポイント等が記載されていますので、ご確認ください。

「総合ポイント制度 ポイント残高のご案内(残高通知書)」と記載しています。

(中面)ハガキを開いてご確認ください。



ポイントの交換方法が記載されています。

キャッシュバックをご希望で、還元コースが「自動キャッシュバックコース」でない方は、こちらのハガキで申請が可能です。※2月末失効ポイントを含め、3月に入金予定。

(裏)



ポイント付与基準を記載しています。

カタログ商品チラシとポイント付与基準表は各支店・出張所と当JAのホームページでご覧いただけます。

お問い合わせ先 各支店・出張所、または企画課(TEL:025-527-2001)

期間
1/1(土)～3/15(火)

カーセンターからのキャンペーン情報

JAハイゼット 新型発表キャンペーン2022





- 新開発したFR専用CVTの採用と、安全・安心・便利機能が満載!
- 電子制御式4WDとCVT用スーパーデフロックを採用!

(写真はダイハツハイゼットです)



期間中のご成約で、
新潟県産 豚ロース(500g×2)をもれなくプレゼント!
この機会に、ぜひJAにご相談ください!

■お問い合わせ先

カーセンター中央(TEL:025-525-6515)
カーセンター東(TEL:0255-78-2337)

カーセンター北(TEL:025-548-2202)
カーセンター南(TEL:0255-82-2112)

JAの自動車共済なら**24時間・365日**の安心サポート

事故の場合は **フリーダイヤル 0120-258-931**

レッカーロードサービスは **フリーダイヤル 0120-063-931**

平日の営業時間内(午前8時30分～午後5時)は、JAえちご上越までご一報ください。

令和3年度
ラスト!

あるん畑利用組合 主催
あぐりコミュニティ食堂を開催します

本来は食べられるはずの食品が廃棄されてしまう「食品ロス」について考えるとともに、フードバンクの活動に理解を深めていただけるようあぐりコミュニティ食堂を開催します!

内容

規格外のため出荷できなかった野菜などを使用したお弁当をお召し上がりください!

会場では、「フードバンクじょうえつ」による一人親世帯への食料支援事業や食品ロス問題に関する説明、資料配付を行います。



- 日 時 令和4年1月29日(土)
事前にお申し込みの上、午後6時までにお越しください。
 - 場 所 あるんの杜レストラン「六花の里」
 - 募集人数 30人程度
(※申し込み多数の場合は、感染症防止の観点から人数を制限させていただく場合があります)
 - 参加費 大人お一人200円、中学生以下は無料
 - お申し込み先 あるん畑(TEL:025-525-1183)
- ※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、中止する場合がありますのでご了承ください。

農業者年金への加入をおすすめします

老後の生活はお金がかかる!

高齢農家世帯(世帯主65歳以上の夫婦2人の場合)の家計費は、現金支出で月額約24万円です。(農林水産省の統計)

国民年金だけでは不足してしまいます!

農業者の皆さまが加入している国民年金の支給額(40年加入の場合)は月額約6万5千円。夫婦合わせて月額約13万円で、1ヶ月あたり約10万円が不足しています。

農業者年金に加入し、老後に備えましょう
～農業者の方なら広くご加入いただけます～

農業者年金の6つのポイント

- ① 農業者なら広く加入でき、家族一人ひとりが自分の年金をかけられます。
- ② 少子高齢化時代に強い積立方式(確定拠出型)です。
- ③ 保険料は月額2万円～6万7千円の範囲で自由に選択でき、いつでも見直すことができます。
- ④ 生涯保障する終身年金です。
- ⑤ 入口(保険料)から出口(年金給付)の両方に、税制上の優遇措置があります。
- ⑥ 農業の担い手として頑張っている方には、保険料の国庫補助があります。

- お問い合わせ先
各支店・出張所、金融課(TEL:025-527-2020)、
または上越市・妙高市の農業委員会

コレはうまい!!



尾西の
カレーライスセット
598円(税込)



長期保存対応
常温5年間

えちご上越米使用のカレーセット発売!!

あるん畑では1月より、えちご上越米使用の「CoCo壺番屋監修 尾西のカレーライスセット」を販売しています。

尾西食品(株)のアルファ米(※)とカレーハウスCoCo壺番屋監修のレトルトカレー、スプーンがセットになっていて、非常時でも日常でもおいしいカレーライスが食べられます。アルファ米の原料には、当JAが供給する加工用米が使用されています。災害用の備蓄として、ご家庭に常備してはいかがでしょうか。

※アルファ米とは、米を炊き上げた後、特殊技術で急速に乾燥させたもの。お湯または水を注ぐだけで、おいしいごはんができていきます。

袋を食器代わりにして食べられるので、アウトドアでも活躍します。
カレーは温めなくてもおいしく食べられます。しかも安心のアレルギー物質(特定原材料等)28品目不使用商品です。
また、尾西食品では長期保存おにぎりも製造。あるん畑で取り扱っていますので合わせてお買い求めください。

ご葬儀・ご法要は

JAセレモニーサービス フリーアクセス 0120-971-959

年中
無休

24時間
対応

虹の会会員募集中
「会員の3大特典あり」

虹のホール いなだ 025(527)2077
虹のホール あらい 0255(70)0101

虹のホール おおがた 025(535)1210
虹のホール なおえつ 025(544)1044

1月のうんまいレシピ



今月の料理当番

ほっこり笑顔のお惣菜 おかげさま

レンコンは薄くスライスするとパリパリ・シャキシャキ、一口大に切ればサクサクと切り方によって異なる食感が楽しめて、料理の幅が広がる食材です。今回は輪切りにしたレンコンと豚肉を使った簡単レシピを紹介します。

材料

レンコン、豚バラ肉、青ジソ、塩・コショウ、サラダ油、彩り用のカブ・大根

豚バラ肉や青ジソは、輪切りにしたレンコンの数に応じて用意してください。カブや大根は彩り用に使うので、赤カブなど色付きのものがおすすめです。

つくり方

- ① レンコンはよく洗い、皮をむかずに1センチ厚の輪切りにして水にさらす。
- ② 水気を軽く切ったレンコンを電子レンジで加熱(500Wで2分程度)する。
- ③ レンコンの粗熱が取れたら、青ジソをのせて豚バラ肉で巻く(写真)。塩・コショウで下味をつける。
- ④ 熱したフライパンに油をひき、③を豚肉のつなぎ目が下になるように並べて焼く。裏返して全体に焼き色を付ける。
- ⑤ 豚肉に火が通ったら器に盛り付け、すりおろしたカブ・大根をのせたら完成。



しょう油やポン酢などをかけて食べましょう！

今月の食材



レンコン

多数の穴が開いていることから、「将来の見通しが良い」と縁起の良い食材として親しまれているレンコン。その名の通り、蓮の地下茎を食用にしたものです。あるるん畑では、11月から2月にかけて地場産のレンコンが手ごろな価格で販売されます。切り方や調理法によって変わる食感を楽しみながら、広く料理に利用してください。

もともと水中に生えている野菜なので乾燥は大敵です。乾燥させないように、濡らしたキッチンペーパーや新聞紙で包み、冷蔵庫の野菜室か冷暗所で保管しましょう。

おたより広場

今月のテーマ

新年の誓い！

令和4年の目標は？

令和4年の目標は、毎朝6時30分
からラジオ体操をすることです。
(浦川原区 M・Tさん)

40分位ですが毎日歩いて2年
目。体調も良くなり、令和4年も
頑張って歩きたいと思っています。
(妙高市 M・Tさん)

今年は「呼吸」をマスターしたい。
習ったことのない「呼吸」だけ
ど、体に良い方法があるよう
ですね。(頸城区 F・Tさん)

身体を大切に。畑仕事ができ
ますように!!(上越市 H・Nさん)

毎年新年の誓いを立てていま
す。令和4年はプレ古希なので、
・毎日丁寧に暮らす。
・言葉は明るく前向きに。
(柿崎区 S・Kさん)

令和4年の目標。電子レンジ、炊
飯器、冷蔵庫を買い替えて、キッ
チンのイメージを変える!!
(柿崎区 S・Yさん)

何の趣味も持たない私ですので
何か1つ始めること。(書か絵手
紙が迷っています)
(頸城区 K・Fさん)

某新聞の俳壇に句が載るといい
なあ。まず納得のいく句をつく
らなくては!
(柿崎区 K・Tさん)

退職してから日記を書くように
していますが、最近まとめ帳
になることがあり反省していま
す。令和4年は頑張つてコツコ
ツと記帳していこうと思います。
(三和区 S・Yさん)

令和4年の目標は、資格試験に
合格することです!勉強し始め
るとなぜかすぐ眠くなるので
す。
(上越市 Y・Mさん)

ミシンを使って自分の洋服をつ
くりたいです。昨年は簡単なカー
テンやコタツ掛けを縫ったので、
今年はまだ少し難しいものに挑

戦したいです。

(上越市 Y・Mさん)

今年こそ断捨離を決行ー1日1
個いらぬものを捨てたい、と
思っています。
(板倉区 M・Aさん)

娘が東京へ引越してすぐにコ
ロナ禍となり、2年間東京を訪
れることができませんでした。
新年の目標は「娘のところに行
く」です。親子、夫婦、兄弟、姉妹、
恋人、親戚etc。会いたい人に
心置きなく会える。そんな年
になることを心から願います。
(妙高市 K・Sさん)

編
今月もたくさんのおたより、ありが
とうございました。(金・洋は手帳をし
かり使いこなして、スケジュールと自
分自身を管理していきたいと思いま
す。)

次号のテーマ

鬼は外!福は内!あなたの場合は?
「○○は外!!○○は内!!」

パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

テーマへのご意見や日々の出来事など何でもOK! 絵手紙やイラスト、俳句などもお寄せください。応募された作品の返却はできませんので、ご了承ください。皆さまの投稿をお待ちしています。

※郵便料金の不足にご注意ください。通常はがきは63円です。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想、おたよりなど』を記入し、ハガキまたは封書にてご応募ください。正解者の中から抽選で、「カレーライスセット&携帯おにぎり」のセットを10名さまにプレゼント! 当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ハガキまたは封書に基づく個人情報は賞品の発送、おたよりなどの掲載に利用します。

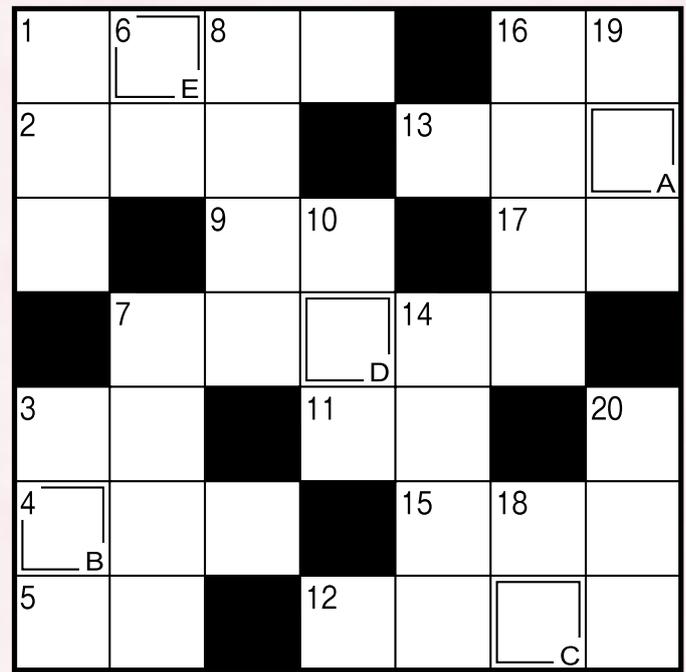
切手	〒943-0817	①パズルの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報誌の感想、 おたよりなど
	JAえちご上越	
広報クイズ係	上越市藤巻5番 30号	



クロスワードパズル

出題:ニコリ

二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

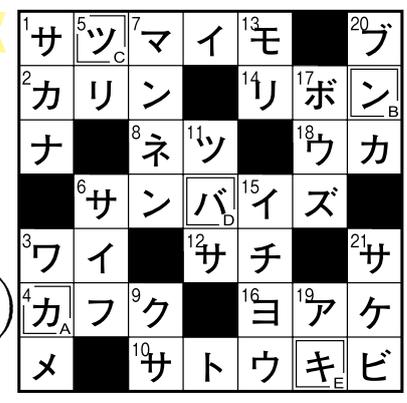
- ① オイルショックともいわれる——危機
- ③ 分度器で測ります
- ⑥ 栗の実のトゲトゲ
- ⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことです
- ⑧ 遊園地で——コースターに乗った
- ⑩ おでんに添える黄色い薬味
- ⑭ 年下の女きょうだいのこと
- ⑯ 屋外で行うことも多い教科
- ⑱ ミカンのものは手でむけます
- ⑲ おしゃれな——でランチを楽しんだ
- ⑳ 「オリオン」「おおいぬ」「カシオペア」といえば

ヨコのカギ

- ① 1月の第2月曜日は——の日。国民の祝日です
- ② 旅支度で、旅行かばんに——を詰めた
- ③ 下手な鉄砲も——撃ちや当たる
- ④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が有名です
- ⑤ 水が混じって軟らかくなった土
- ⑦ これが三つで三振
- ⑨ 土を盛り上げて作ります
- ⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が付いたもの
- ⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか
- ⑬ 果物——を使ってリンゴをむいた
- ⑮ 遠回りをすること
- ⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる鳥
- ⑰ やっぱり自分の——が一番落ち着くなあ

11月号の答え

答え
「カンツバキ」



応募総数は
134 通でした。



広報担当のつぶやき

明けましておめでとうございます！今年も「広報えちご上越」をよろしくお願ひします。新年号ということで表紙タイトルをちょっと派手に、野菜は飾り切りに挑戦してみましたけどどちらもセンスが…。美的感覚も料理の腕も磨かないといけませんね(>_<) 苦手と避けていたことも思い切ってトラ(寅)イする年にしたいと思います☆



(宮本)

今月のプレゼント

尾西食品(株)

「カレーライスセット1袋(1食入り)&携帯おにぎり2個(鮭・わかめ)」セットを10名さま

尾西食品(株)のアルファ米を使用した、5年間の長期保存可能なカレーライスセット(15ページ参照)と長期保存用携帯おにぎり2個をセットでお届けします。お湯で15分、水なら60分でできあがり！災害時の非常食やミニマムキャンプのほか、通常時に食べてもよしの一品です！

